

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸市市道0135号沿いの梅の木整備
事業主体 (連絡先)	小諸市立芦原中学校コミュニティースクール運営委員会 (小諸市新町二丁目6番1号 0267-22-0071 代表 柳沢 勝)
事業区分	(5)環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	480,148円 (うち支援金: 350,000円)

事業内容

小諸市の玄関口とも言える芦原中学校前の梅林道路であるが、樹勢の衰えも指摘されていた。そこで、和歌山県より南高梅の苗木50本を取り寄せて定植した。

- 1 梅の木の状態の確認 5/14 (日)
- 2 現存木の梅の実の収穫 6/13 (火)
- 3 苗木の買い付け 7/30 (日) ~31 (月)
- 4 梅の現存木一部剪定 9/16 (土)
- 5 苗木定植用穴掘り 10/8 (日)
- 6 苗木受け取り 11/17 (金) ~18 (土)
- 7 苗木の剪定 11/19 (日)
- 8 苗木の定植 11/20 (月)
- 9 防寒対策と施肥 11/21 (火) ~1/28 (日)

この梅を大切に育て、地域と共にある学校づくりを進めていく。



【11/20 苗木の定植作業】

【目標・ねらい】

- ①地域の景観保護
- ②スクールアイデンティティ確立
- ③地域と共にある学校づくり

事業効果

- ①1年目であるため効果はこれから見定めていくが、50本の苗木により、学校周辺道路の現存木の間へは苗木を定植することができた。新たな梅の花が来訪者や地域の方の目を楽しませてくれるものと期待している。
- ②現存木を植えた方から当時の思い出をお聞きすることがあり、梅の木がその方にとって大切な存在となっていると感じる。今回定植に携わった生徒も、将来「この梅は自分たちの植えた梅」と誇りを感じ、自分たちの学校、自分たちの街を大切に思う心情が育まれることを期待している。
- ③今回の取り組みを通して、梅林道路の梅の木が貴重な教育資源であることが実感できた。梅の収穫や仕分け、販売、商品開発などで地域の方々の年代を越えた交流を生みだしたり、地域の活性化をテーマにした探究的な学びを創造したりするためのヒントが見えてきた。

※自己評価【B】

【理由】

当初予定していた本数の苗木を定植することができた。これを教育資源として、さらに地域と結びついていた探究的な学びへとつなげていきたい。

今後の取り組み

- ・梅林道路の残りの部分や校地周辺の梅の木の更新 (新たな苗木の定植)
- ・地域の方との協働による梅の実の収穫や仕分けなどの体験活動の充実
- ・地域企業との連携による商品開発など、地域の活性化に向けて取り組む探究的な学びの構築
- ・梅の実の収益金を活用した地域貢献プランの検討